

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		南足柄市障害児通園施設「くまさん教室」				公表日	令和7年4月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		・感染防止に留意し必要なスペースを確保できるように、活動内容やご利用者のニーズに応じたスペースの使い方を職員間で話し合い、工夫をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	・必要に応じた職員体制になっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4	利用児の発達や特性を踏まえた上で理解しやすいように空間を仕切る・写真カードで1日の流れを提示するなど環境設定をしながら安心安全に楽しく過ごせるように心がけています。	・建物の老朽化による雨漏りがあり、対応改善が必要（南足柄市に申請中）	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	4	・毎回、消毒・清掃作業を行い清潔な環境に気を付けています。また、常時空気清浄機を稼働し定期的な換気もおこなっています。 ・ワンフロアのみなので、パーティションなどで仕切って対応しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	5	・個別の場所を確保することが難しい状況になっていますが、視覚的に理解し易いようにフロアマットで色分けしたり、大型のつい立て仕切る等の工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	・利用児童の帰宅後すぐに、振り返りの時間を設け職員間で共有するようにしています。	・日々の振り返りの時間が不足していると感じています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・保護者アンケート結果の課題等を職員間で共有し合い業務改善に向け検討しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	・職員間の意見交換は出来やすい雰囲気になっています。また、気になる点がある場合はその都度話が出るように声を掛け合うようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2	・法人規程に準じ第三者委員を置き、苦情等を客観的に評価し、業務改善を行う体制を整えています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		・内部・外部の研修参加の他、定期的に部署内で勉強会を開催し支援の質の向上に務めています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		法人のホームページで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		・利用児童やご家族のニーズをできる限り尊重し、状態像や生活環境の変化等をアセスメントし、成長と発達に応じた個別支援計画書の作成に努めています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		・職員全体で子ども一人ひとりの状態像を検討し合いながらアセスメントを行うのとともに、心理士の見立て等も参考にしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	・個別支援計画を意識出来るように、ホワイトボードに見える化し職員間で共有しながら支援をおこなっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		・「こどもの発達を支えるアセスメントツール」を使用しています。		

適切な支援の提供

16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		・定期的に各項目のアセスメントを行った上で、お子様やご家族のニーズを尊重し、個別支援計画を作成しています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		・利用児童が興味関心を持ち、主体的に楽しめるような活動プログラムを職員間で話し合い立案しています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	・活動プログラムが固定せず、様々な体験の機会が増えるよう、職員間でアイデアを出し合いながら検討しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		・1日の活動予定に、個別活動と小集団での活動が含まれるようにプログラムの内容を検討し合っています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	・朝のミーティングで、その日の活動内容の確認・役割分担・参加状況・及び前回参加時の様子や引継ぎを行いチーム支援に繋がるようにしています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	・支援終了後直ぐに、振り返り時間をもうけその日の児童の様子や支援内容の振り返りをおこなっています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		・当日の支援内容や様子、保護者からの情報を記録し、支援方法について職員間で振り返り、検証・改善をおこなっています
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		・日々の振り返りに加え、定期的なモニタリングを通じて達成度や支援の方向性を確認し、各お子様の状態や家庭状況等に応じて計画の見直しをおこなっています。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		・必要に応じて、児童発達支援管理責任者が出席しています。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		・南足柄市の保健・医療・障害福祉・保育教育等の関係機関とは連携支援するための体制整備と月に1回の業務連絡会への参画をしています。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		・保護者からの平行利用や移行の希望に応じて保育園・幼稚園・子ども園等への連絡調整・見学・情報共有等を適宜おこない相互の理解を図っています。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	・就学に関しては、移行先からの求めに応じて情報共有をおこなっています。
28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	4	・現在、南足柄市の業務連絡会の場で児童発達支援センターの職員と顔合わせを行う状況にあります。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	・例年地域の幼稚園のお祭り参加をしましたが、今年度は幼稚園側のご都合で交流はおこなえませんでした。子育て支援センターへ同じ地域のお子さん達との交流の機会をもちました。

関係機関や保護者との連携

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1	・送迎時の対面でのお話と、連絡帳での状況確認、また必用に応じて、電話連絡等での確認をおこない保護者の悩みの軽減になるような対応方法を一緒に考えるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2	・事業所とご家庭で運動して行えるような、お子さんに対する支援方法の提案を行うと共に、保護者どうして気軽に日常生活の困りごとの共有をし合い、生活に即した対応の仕方等を検討し合う場の提供をしています(保護者会)。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		・契約時に運営規程・利用者負担などについての説明を行い、支援プログラムについては、毎月のプログラムの配布と保護者会等で細かく説明をおこなうようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		・利用児童やご家族のニーズをできる限り尊重し、状態像や生活環境の変化等をアセスメントし、成長と発達に応じた個別支援計画書の作成に努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		・定期的に個別面談を行いながら、児童発達支援計画の説明をおこない、同意を得るようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		・事業所内での個別参観日を設けるなど、子育ての悩み等が発信しやすい環境を設定した上で、家庭状況や保護者の思いを聞き取るようにし、必要に応じて面談や助言、また心理士面談をおこなうようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		・例年、保護者同士で交流の機会としては、定期的な保護者会・参観日を設けています。今年度は法人内の親子の場との交流を行い兄弟児も楽しめるような機会となりました。	・併用利用している利用児が多いの中の、兄弟児も一緒に交流は難しさを感じています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		・契約時や、保護者会等でいつでも相談出来る体制にある事を周知するとともに、相談等にも出来る限り早く対応出来るようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		・毎月の活動予定・3ヶ月に1回の写真付きの活動報告を配布しています。また、法人ホームページ上でも活動プログラム等の掲載をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		・保護者に契約時に個人情報に関する許諾書類の提出を依頼した上で、個人情報の取り扱いには細心の注意をすると共に、個人の写真や名前の使用、情報提供の際にはご家族に確認をおこなうようにしています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		・お子さんや保護者の特性に配慮し、実物の提示・理解しやすい形での伝達方法にして伝えるようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	1	・毎月地域ボランティアさんとの交流の機会を設けています。	
非	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		・各種マニュアルを策定し、職員必携ハンドブックや研修を通じて職員間に周知しています。また、定期的に訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		・BCPを策定し、災害発生時には安全かつ迅速に避難が出来るように、避難訓練を毎月おこなっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		・利用契約前に、持病・服薬の有無などの確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	11		・現在アレルギーのある児童の在籍はありませんが、あるお子さんの利用希望があった場合は、主治医の指示書の提示をお願いしていきます。	

常 時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		・法人内・事業所内・建物内での安全管理に必要な研修・訓練等は職員全体で周知・参加するように努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11		・年度初めに、ご家族に配布し周知しています。また、途中利用契約児童のご家族には契約時に配布し説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		・ヒヤリハット発生時は報告書を作成し、改善点を話し合い共有しています。また、医療安全委員会でヒヤリハットを集計し、全職員間に周知し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		・権利擁護・虐待防止委員会を設置し、ご利用者の権利擁護や虐待防止についての研修を開催し、全職員が参加しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11		・切迫性・非代替性・一時性の要件と照らし合わせ組織的に決定し、ご家族に説明の上、同意をいただいています。また、やむを得ず行う場合でも身体拘束軽減に向けて、他の施設の取り組み事例等も参考にし、工夫できることを検討し、必要最小限にとどめられるように取り組んでいます。	